

中学生までの子ども医療費が 完全無償化になります！

平成29年7月1日より



3月定例会において、平成29年度当初予算を議決しました。
今回の予算は総額844億7,700万円、一般会計は前年度より3億500万円増で、過去最大規模の496億5,000万円となりました。
(予算の概要は広報津山4月号に掲載されていますので、ご覧ください。)
子ども医療費については、拡充を歓迎する賛成の意見、津山市の財政を心配し反対する意見などが多く出されました。

子ども医療費無償化の対象拡大の 条例と予算を可決

子ども医療費公費負担制度の充実を図ることを目的に、小中学生の通院にかかる医療費についても無償化するため、関係条例の改正案と予算案が今議会に提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

これにより、中学生までの医療費が完全無償化されます。(施行日は平成29年7月1日)なお、入院については既に無償化されています。

〈当初予算4億3,889万円〉

市の債権を一元管理へ！ 債権管理室を設置

津山市の市税以外の債権は各担当課が管理、徴収を行っていましたが、債権を全庁で統一に取り扱いを行うため、債権管理室が設置されました。また債権管理室担当の特別理事として元市職員の岡大介氏が任命されました。

私はこう考える

反対討論

竹内邦彦議員 債権管理室は行財政改革の観点では特別職よりも一般職を置くべきであり、専門性の観点からも弁護士を非常勤で置けばいい話であり、説明が不足している。

私はこう考える

反対討論

津本辰己議員 債権管理室を置くこと自体には反対するものではないが、特別理事を置く必要はない。特別理事を置くことは行財政改革に反するものである。



私はこう考える

反対討論

岡田康弘議員 子ども医療費の無料化は経済的に家計が助かるのはわかるが、将来的に財政に与える影響は大きく、執行部の説明が足りない中、無条件に賛成することはできない。

私はこう考える

賛成討論

金田稔久議員 子ども医療費無料化は子育ての経済的な負担軽減、子どもの健康維持につながる。あわせて適正受診をしていただくため運用・啓発を行うことを意見して賛成したい。

私はこう考える

反対討論

安東伸昭議員 医療サービスを無料化することは禁じ手と言われている。自治体のサービス合戦になり、学校給食無料化などに広がるのが懸念される。一定の負担は必要と考える。

私はこう考える

賛成討論

秋久憲司議員 今後、様子をみて見直し、子どもの貧困対策を含め、子ども全体に総合的な施策を実施するよう意見を付して、子ども医療費の無料化について今回は賛成する。

私はこう考える

討論

河本英敏議員 全てがタダで当たり前、そんな時代にしていいのか。他市でも出生率の低下、人口移動が止められてなく、大衆迎合としか言いようがない。立ち止まって考えるべき。(当初予算は賛成、条例は反対)